

令和6年4月教育委員会定例会会議録

日時 令和6年4月23日(火)

14:00~16:15

場所 役場 災害対策室(3階)

出席者：森田教育長、山下委員、馬場委員
松尾委員、富木委員

事務局：朝長次長、筒係長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 全員出席

2. 会議録署名委員氏名

馬場委員、松尾委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

(3月定例会の会議録を確認。)

4. 報告事項

1) 教育委員会

3・4月事業報告、4・5月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

3・4月事業報告、4・5月予定について

(別紙により筒係長報告)

※報告事項(追加・その他)

森田教育長

付け加えをします。4月の部分で、石多加代子さんのリサイタルの日に、波佐見町消防団の入退団式があって、マスコミ等々でもご存じのようにドローン隊が県内で初めて立ち上がっています。6名の団員が研修によって育成されてということでした。21日日曜日に婦人会の総会がありましたので、私が参加してきました。次、ベネッセという言葉が出てきますが、先ほど標準学力調査を作成している会社とはちょっと違います。標準学力調査をやって結果は出てきますが、ベネッセの魅力は、この子はこういう良さがあって、こういう課題がありますよという分析した一人一人のデータを出してくれます。あなたはこういうことをやったほうが良いですよ、その子に合った問題を提示してくれるAIドリルとセットになっているので、後の指導がとてもやりやすいというメリットがあるということで、中

学校でまず試験的に昨年やって、今年度は小学校でも全て実施するようにしました。現在使っているEライブラリーと金額的にもほとんど変わらなかったのも、より子供たちの実態に応じた対策が出来るということと、先生方の負担が少なくて済むということで、ベネッセに移行をすることにしています。

次が、先ほどの中学校の絆の日のイベントです。今、次長から詳しい説明がありましたように、子供たちにとにかく絆の日をもっと有効的に使ってもらいたいということと、中学校のやきもの体験プログラム等々、中学校の池本校長と話をしました。池本校長はとても熱心な方で、大人がこうしなさいということではなく、生徒たち自身がもっとこういうことがしたいとか、子供たちの思いを大事にした学校経営をしていきたいということをおわれています。今回も初めての取り組みではありましたが、それを受けて先生方や子供たちと話し合っていく中で、波佐見中アピールとして、今回はボランティア的なものもたくさんやっていきながら、やきものがもし売れた場合は、中学校の活動に使ってもらいましょうということにしています。

講堂についても渡辺先生の方から、県の教育委員会ライブラリーにもお願いをして、何本かDVDを準備しています。来年以降地域の方々の中から、こんなことをやりたいということがあれば全然構わないと思っていますが、一つ波佐見高校の美術工芸科の作品をその期間講堂に展示できないかなと思っています。30万人近い方が来られているのに波佐見高校の美術工芸科の作品を、講堂に展示しているだけでも全然違うかなと思ったりしています。来年はそこをちょっと波佐見高校に相談して取り組めたらなどということをおいているところです。

絆の日については、やはり保護者の方からいろんな意見が出てきています。こちらとしては夏休みを分散して陶器まつりと抱き合わせた休みにとおっていますが、何か特別に絆の日ということで注目されて、誰がご飯のお世話をするんだとか、自分たちは休めないのに誰が安全管理をするんだという意見があるようです。確かに低学年の保護者としては、そうだろうとは思いますが、中学校の保護者からも、中学生でもできないので止めて欲しいという意見があるようです。低学年の子供さんは厳しいのかなとは思っていますが、そこも含めてもう少し家族で、どういう過ごし方ができるのか話し合いをしてもらいたいなともおと思っています。自分で自分のことはできるという自立の基礎づくりという小学校中学校の最大の狙いを、ここで体験してもらいたいということもおと思っています。

5月の予定のVファーレンサンクスマッチの日曜日に、川棚高校の体育祭が行われます。川棚高校も、20人ぐらいの子供たちが行っているのも、行こうと思っています。

はい、何かお尋ねご質問等がありましたらお願いいたします。

- 馬場委員 すいません、卒業式入学式と続きましたが、特に初めて参加された方もいらっしやったので、中学校は一緒でしたが、小学校は分散して行かれました。何かそこら辺りで感じられたところとか、もしあられるようであれば聞かせてもらえればと思います。
- 私は中央小の卒業式に行かせてもらいました。立派な卒業式でしたね。休みが何名かいたのがちょっと気になりましたが。
- 森田教育長 インフルエンザとコロナですね。南小も4名、中央も5~6人、中学校もそうでした。何か出席されての感想とかありますか。
- 山下委員 南小の卒業式もインフルエンザがちょっと多くて、当日も式の途中で具合が悪くなる子供さんが居たり、参加できなかった方は可哀そうだなと思いましたけど、校長先生が後で渡す等の配慮されていたので、素晴らしい卒業式だったと思います。入学式も大変可愛らしく、1年生もきちんと返事をしていました。大変良かったです。
- 富木委員 そうですね私、東小学校の卒業式に行きましたけど、一人ひとり中学校での目標を言っていましたけど、あれも良かったと思います。全体的に校長先生の挨拶と、東小の場合はPTA会長さんの挨拶があっていましたが、全体的に挨拶が少なくなって、早く終わって、良かったのかなという感じはしております。
- 松尾委員 入学式は中央に行きましたが、途中で1年生に気分が悪くなる子供が生まれて、途中先生が気づいて、具合悪いだらうと言って連れ出されて、外にたどり着くか着かないところで嘔吐して、親御さんと呼んで少し後ろの方で休まれています。最後まで館内には居たと思いますが、あと、嘔吐下痢で1年生のお休みが1人いました。
- 中央小の卒業式後、インフルエンザが大流行しまして、うちの子も罹りました。当日卒業生が5人休みで、その時点でも37℃ぐらいある子が何人かいました。でもやっぱり最後なので、喉が痛くなければとか、咳が出ていなければとかで、ちょっとの時間でも出席したいと行った子もいました。その子たちは、結局ホームルームが終わって帰りましたが、児童たちは式の後に、卒業したそれぞれの園へ先生に会いに行き過ごしていました。前の週に園から案内状が来ていましたので、翌日ほとんど全員が出席して、園庭で遊んだり、ホールでレクレーションをしたりしました。その日の朝連絡し、乳児部とのイベントは自粛してもらいました。それに参加した児童も1~3日後に熱が出て、ほぼインフルエンザBでした。
- 森田教育長 中学校の卒業式も参列できない不登校不適應の子がいましたが、その子たちは個別に校長室で対応しました。今年度は、第1希望ではない子もいま

したが、通信制の高校も含め、全員が高校進学をしたということになります。しかし、どうしても不登校不適應の子供たちにとっては、学力がその分やっぱり定着していないので、どうしても厳しい現実があるということ、今回特に中学校3年生の先生方に、もっと強く保護者の方にも伝えてくださいと言っています。今学校に行かない選択肢も当然ありますが、実際15の春に、それが春になるか冬になるかは、本当に人生最初の大きな岐路です。これから逃げることもできなければ、自分だけ変えることはできない部分があるので、そのことも踏まえて、学校に何とか行かせるという大切さ、もし学校に行けないのであれば、学びの保障はきちっとしておかないといけないというところを、伝えてほしいとお願いをしています。もうちょっと保護者が危機感を持っていただかないと、子供たちにアクションを起こさないといけないのではないかなと思っています。

はい、今までの事で何も無ければ、次の3番にいきたいと思います。

3) 町及び教育委員会職員名簿について

4) 令和6年度児童生徒数(4月10日現在)について

(別紙により朝長次長から報告)

朝長次長

今年度4月1日現在の教育委員会の名簿となっています。

【資料により説明】

以上でございます。

森田教育長

教育委員の皆様方や町行政当局のご理解をいただいて、人的サポート体制は、もうほぼ出来上がっているのかなあとと思っています。スクールサポートスタッフ、教育業務支援員という形で文科省も進めているものではありますが、来年度もし予算要求ができるならば、ここを1校1人でいけたら良いなということを思っています。

支援員さんの方は先ほど言いましたように、学力向上を9名、そしてが特別支援を10名で、今特別支援に2名の応募があつています。2名中1名、後で学力向上の方に2名来ていますので、何とかいけないかなあとと思っています。東小学校3名、中央6人、南小5人、中学校5人ということで19名体制にしていますが、とにかく中央小と南小を先に充当したいと思っています。7時間、8時15分から16時までの勤務になっていますが、こういうフルの時間で19名というのは多分県内あるいは全国でもそうないのかなと思っています。人数的には川棚町が14人、東彼杵町が18人なんですけど、ところが勤務時間が4時間、5時間、6時間が基本で、本町みたいにフルの7時間勤務は1人もいません。そういう点でも、先生方に成果を上げてくれとい

うことを話をしています。何とか頑張って欲しいと思っています。
次4番、児童生徒数をお願いします。

朝長次長

児童生徒数の今年度当初の人数になっております。

【資料にて説明】

森田教育長

中学校が1学年4クラスに全部揃うことができたので、縦割りがとてもしやすくなりました。昨年3年生が急に3クラスになったものですから、大変やりにくい面もありましたが、県の少人数学級編制に合わせて、こういう人数でできたので、とても良かったのかなと思っています。児童数・生徒数が、横ばい、やや微減ということは、波佐見町の特徴かなと思って本当にありがたいと思っています。学校の統廃合については、こういう現状ですから全く考えていないというか、考える必要はないかなあと考えています。東小には東小のメリットもありますし、東小のもし課題があれば、東小からの提案を他の学校と協力をして検討していければ良いかなと思っています。統廃合については、今のところはまだ論議としてはまだ早いかないと判断しております。

では議題、準要保護、就学援助の認定について、提案よろしくをお願いします。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長

今月は、継続で経済的理由が3件、児童扶養手当が8件あっております。新規で児童扶養手当の方が1件、それと不認定の方が2件ということで申請があつております。

【資料に基づき説明】

以上でございます。

森田教育長

まず、準要保護認定の継続については、継続承認でよろしいでしょうか。

【全員委員承認】

あと、不認定の2件についても、数値が1.2を超えているので、不認定ということでもよろしいでしょうか。

【全員委員承認】

次、小・中学校主任等の任命についてどうぞ。

2) 小・中学校主任等の任命について

朝長次長 はい。ページ数は8ページから11ページです。各学校から主任等の発令ということで具申が参っています。それぞれの学校で、それぞれの役職で、任命させていただければと思っています。

森田教育長 各学校の主任等については、よろしいでしょうか。

【委員承認】

次は、教科書、採択委員の選任ということで、お願いします。

3) 中学校教科書採択協議会委員の選任について

朝長次長 12ページをご覧頂きたいですが、去年は小学校の教科書採択でしたが、今年度は中学校の教科書採択ということになっています。それで採択協議会が組織されますが、教育委員さんの中から1人推薦してほしいということで事務局から来ています。どなたか、選任をお願いしたいと思っています。スケジュールは13ページに上げていますが、5月8日の郡校長会でこのスケジュールの具体的な日程が決定されます。第1回の採択協議会が5月下旬、第2回目が8月に開催予定です。基本的にこの二回の協議会に出席していただくこととなります。どなたかご協力していただければと思います。

【委員協議し、山下委員を選出】

森田教育長 次の持ち寄り議題は後でしたいと思いますので、連絡協議会理事会、そして合同研修会等々の提案をお願いします。

5. その他

- 1) 県市町村教育委員会連絡協議会理事会について
- 2) 令和6年度県市町村教育委員会連絡協議会総会について
- 3) 民生委員・児童委員との意見交換会について

朝長次長

14ページをお願いします。理事会でございますが、明日10時半からとなっておりますが、すこやかプラザから佐世保市役所に変更になっています。理事会につきましては、山下委員さんと教育長に出席していただきます。

続いて、15ページ。市町村教育委員会の合同研修会ということで、5月28日にアルカスの方で予定されております。また分科会があると思いますので、情報が入れば皆さんに、どの部会で参加したいかご連絡したいと思います。

あと、民生児童委員さんとの意見交換会ですが、今年度は教育委員さんとの懇談会となっています。事務局より6月17日に行いたいと連絡が来ています。ご予約をお願いしたいと思っています。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

森田教育長

お尋ねございませんか。無ければ、持ち寄りになります。

山下委員

中学校のジャージ登校について、中学校の1年生の保護者さんから相談がありました。制服は式があるときは必ず着用して、その他の時は制服又はジャージ着用でも良いというような文書を、入学式後に頂いて、制服は2日間だけ着て、後はもうジャージで登校しているということでした。今朝も、中学校の生徒さんたちを見ていたら、制服を着ている子どもがなくて、全員ジャージ姿で登校をしている状況でした。上の子のお下がりがあったから、それを着せようかなと思っていたけど、3年間着るとなると、やっぱり制服も傷んでくるから新しく制服を購入して、カッターシャツも1枚では足りないから2枚購入し、夏服も購入済みですということでした。それで、制服ではなくてジャージ登校が良いっていうことを今になって聞いたことが、ちょっとどうだろうかということでした。1学期だけでも制服を着て、その後にこういうふうにしましょうと案内が来たら、まだ良かったけれど、やっぱり子供たちは制服よりもジャージが楽なので、ジャージで行こうということで、今ずっとジャージを着て行っていますということでした。

森田教育長

今回私たちも、少し早過ぎたなということはいっています。過去に本町で起きた学校の独断先行で、教育委員会と関係性あるいは地域との関係が非常に悪くなった事案があったということで、プールの件、制服の件、様々な件を言いました。本町は4校しかないし、教育委員会も踏まえて、報連相の徹底ということ、必ずして欲しいとずっと言っています。今回のジャージ登校の話も私たちは知りませんでした。今山下委員さんから、文書についての話を初めて聞きましたが、教育委員会としては判断し

ていませので、決定ではないということは伝えていませ。

松尾委員 皆さんそう思っないです。全部決定だと思っています。皆さん、ジャージでしか行かないと思っています。2年生3年生がいる保護者の方も、全然聞いたことありませんでした。

馬場委員 そういう文書が届いたんですか。

森田教育長 私たちは見ていません。

馬場委員 それはちょっとおかしいですね。

松尾委員 入学式の次の日に、1年生の保護者からそういう連絡をもらって、同じようなことを言われました。

富木委員 職場の職員で3年生がいますが、入学式だけ制服で行って、今日からジャージで行っていたと、親も知らなかったと言っっていました。

松尾委員 だから恐らく1年生だけじゃなくて、多分言っているとは思いますが。

森田教育長 2,3年生に配っているのでしょうか、そこを確認しないとイケませんね。

山下委員 2,3年の保護者さんにお尋ねしたら、知らなかったということでした。

松尾委員 皆さん知らなかったし、今までそういう意見が上がったことは、多分無かったのではないかと思っっていますが、雨の日は困っているんで、保護者の中では雨の日にはジャージ登校できれば良いよねという意見はあっっていました。

森田教育長 だから、そこら辺りの話はあっっているようですが、まだまだそれは決定ではないということをお話しています。今みたいに確かにジャージのメリットの方が大きいだろうとは思っいますが、本当に高額なお金をかけて買った制服をどうするかという時に、落としどころとか、雨の日とかもあるとは思っいますが、基本制服であっって、どうしても制服のデメリットの部分で、雨の日とか、あるいは極端に暑くて云々とかいうところはあるかもしれないけれど、もう少し丁寧な論議を行ってから、判断してもらわないとイケないと思っっています。この前の校長会の提案では、まだそれは最終的な決定と私たちは見ていませんとは伝えていませ。

- 松尾委員 全保護者に行っています。
- 森田教育長 もちろん、それは教育委員会から指摘があったと言えば良いのではないかと思います。やっぱり高額なお金を出して買っていただいていますからね。
- 松尾委員 登下校もですけど、授業を受ける時は、制服の方が良くないかなとは思うし、1年生も夏服ももちろん注文していますよね。
- 山下委員 ジャージで良ければ、ジャージを2枚買った方が良かったと言われていました。
- 森田教育長 だから、ここはちょっと学校との思いと、現状、多分子供たちは楽なのでということもあるし、動きやすいということがあるとは思いますが。
- 松尾委員 あと清潔ではあります。制服はどうしても毎日洗うわけにいかないのが清潔不潔ということから言えばジャージの方が良いということで、コロナの頃にはジャージ登校にする学校が幾つかありました。
- 森田教育長 今全国的にもジャージ登校が増えてきています。それは多様性のことも含めて、スカートじゃなくてスラックスということと、それとちょっと相まっている部分があつてですね。熱中症の方が大きくはありました。自転車登校が、やっぱり安全面とか、あるいは快適性だとか、そういう点でも登校しやすいだろうとか、やっぱり女の子のケアの部分でジャージの方が良いじゃないかとか、今ジャージ着用を主とする学校はどんどん増えてきています。それは間違いはないんですが、今回それも含めてでも、ちょっと独断だったなあという部分がありましたので、今日ここで提案させていただいて、もう一回差し戻しまでできるかどうか分かりませんが、ちょっと要検討だと思っています。校長先生方の学校の思いも少し聞かせていただかないと、分からないかなあとと思っています。
- 馬場委員 何年か前に制服問題があつて、中学校だけで先行してしまつて、保護者も制服が変わるの？という話がありましたね。今回の件は、あれと全く一緒ですね。
- 松尾委員 制服自体を変える？
- 馬場委員 そう、もう保護者の間でも制服が変わるという話になつてしまつて、教育委員会ではその話が全く通ってなくて、何でそんな話になつている？もう形までどうのこうのって、いうところまでいっていました。3年

ぐらい前だったと思います。

森田教育長

ちょうど東小学校のプールと、中学校の制服と、中央小学校の修学旅行を急に止めるとか、全く教育委員会に何の相談もなくという事が続きました。私たちには後から情報が入ってきて、それは駄目ということを徹底しました。制服については、制服委員会を立ち上げたりとかしました。その時は、学校がもう子供たちにアンケートまでして、特に女子生徒の制服をこんなふうにとか、それは分かりますが、手順が全く間違っていますということで、差し戻して、そして制服委員会を立ち上げて、時期早々ということになりました。ただ検討委員会を立ち上げて、今後必要性があれば、ここを中心に話し合っていきたいと思います。東小学校のプールも、そのあともいろいろなことがあって、プールの利用も含めて、今やっと落ちついていきます。とにかくこういうことがあったので、報連相の徹底をしていましたが、今回このことが、新しい校長さんになっての思いの部分もあるし、過去にここにいらっしやったので、状況等々もお分かりになってはいらっしやるとは思いますが、手順を間違っていらっしやるのかなあと考えています。ここについては、早々に校長さんたちを呼んで、主旨、思い等々を十分に把握してから、次の動きをしないといけないかなと思っています。

馬場委員

是非、そこら辺りは徹底してもらいたいですね。

森田教育長

他ございませんか。

山下委員

3月に地区のPTA総会の方に参加させていただきました。特に意見も出ずに、スムーズに行われましたが、ただちょっと一つ気になったのが、今年度の夏休みのプールの参加について話があり、学校には一応2回ということで伝えていきますということで、役員さんの話の中でそういうふうになっていくみたいですね。なので、あと新役員さんの方で調整してくださいということを知りましたが、子供たちの声を聞くというよりも、今は何か保護者の方、役員さんとかの意見で何回にするとか、そういったところを取り入れられているような感じがしました。特にその内容に関して、私がいろいろ言うこともなかったのですが、黙って聞いてはいましたが、やっぱり学校側とよく検討されたりとか、子供の意見を取り入れた話合いをしていただければなあと思いました。

私の方からは、地区の方たちに、教育委員会の教育相談窓口を学校だよりとかにも載せていますので、そちらをご利用されてくださいということをお伝えしております。それから新年度スタートして、学校だよりを拝見して、中学校と南小学校の校長先生が代わられたということもあって、その相談窓口の案内が記載してありませんでしたので、よろしければお伝え頂

ければと思っております。

馬場委員

先日の食改の総会の折に、講演会で子供食堂の話があって、渡邊先生と一緒に参加させていただきました。波佐見町でも子供食堂をやろうという機運が高まっています。町の子育て支援と食改の方が、今年度月に一回取り組もうとされています。改善センター、総合文化会館、勤労福祉会館、この3か所で月に一回ずつ試験的に開催するということで言われていました。初めてその時私もチラシをもらいました。長崎で、去年一昨年ぐらい前から、子供食堂を立ち上げられている先生が講演をされました。波佐見町では、まだそういったところまではいっていないようですが、そういった内容を聞いて、まず波佐見町の、こういうふうに行っている、やろうと思っているという主旨を聞かさせていただきました。先ほどもちょっと出ました協和の「寄なっせ」というところの活動の中で、実際しましたという話もありました。かなりの子供が集まったそうですね。子供食堂というよりも、まずその前に地域の居場所づくりのために始める形が良いだろうと、私は思っていました。全く同じ思いで協和が始められたと言われたので、進んでいるなと思いました。居場所の中で子供食堂を作らないと、子供食堂をだけ作ってしまえば、どうしても貧困のイメージがついてしまうので、そうじゃないですよということを示さないといけないと思います。老人の方も、小学生も中学生も高校生もいる、そういった居場所をまず作ってから、その中で子供食堂を作る形の方が良いですよという話です。そうなれば次、実際されるのは誰がされますかという話になってきますが、町では一応旗振り役は行いますが、やっぱり現場で動かれるのは、今のところ食改の皆さんがボランティアでされるみたいです。チラシを早く配って、そういったところを周知していただければ良いと思います。中央地区は良いと思いますが、小さいところはそこまでいかないと思いますが、将来的にはそういった場所が各地区にできれば一番良いなと思っています。やっぱりどこの地区も、そういう状況になりつつあるから、非常に良い話だったと思います。今回話を聞かさせていただきました、うちの家内も食改に入っているの、是非それを立ち上げてみたいと思っています。立ち上げても、いろんなところから食材の提供を受けないといけないし、財政的なものも必要となりますので、そういったところを、私たちが協力し合えるところは協力し合あわなければいけないなと思わせていただきました。

森田教育長

協和郷は新しいですが、中身的にはとても先進的というか、一番充実していると思っています。だから先ほど言った地域包括の担当が、そういうことを子供たちにまず情報提供して、子供たちが積極的に地域の方々と交流をしながら、公民館活動であったりそういうものに従事できるようにしていきたいと思っています。子供の居場所づくりに子供たちが参画をして

いくということ、まずは子供たちにレクチャーをしたいということで、今度やっていただいて、なるほどそんなことを自分の郷ではやっているということ、まず子供たちが学んでもらいたいと思っています。その後呼びかけがあれば僕も参加しますということができたなら良いなという部分がありますので、まず、その学びの部分を、今度4年生を中心としてやっていこうと思っています。

馬場委員

良いことだと思います。うちの孫が東京にいますが、月に一回、キリスト教の教会がやっているみたいです。100円持って、100円カレーを食べに行くと言って、張り切っていくらしいです。近所の子どもとか皆来るらしいです。だから、そういうふうになると、また一つの意味合いが出てくるのかなという感じです。いろいろ凝ってやっていると、財政が続かないという意見も出ていましたので、有料にするのか、無料にするのか、という意見も出たりしてやっていました。やっぱり有料で、ちょっとのお金で、そういったことが受けられれば良いけど、と思って聞かせてもらいました。今後、これは本当に進んでいくだろうなと思って言わせてもらいました。

もう一つ良いですか、先ほど教育長が言われましたが、質問しようかなと思っていましたが、今月の町広報紙などが来ましたので見ていたら、やっぱり波佐見町は教育には物凄くお金を掛けていただいております。その中で、例えば漢検に補助をしたり、英検に補助をしたりというところがありましたが、補助をすることは良いことですが、結果的にどういう成果が出ているのかなと、これを是非先生方に聞いてみたいなと思っています。

私たちはちょっと判断できないですが、給食の無償化については、全員に対する補助ですが、そういった今の子供たちへの支援が余りにも厚過ぎるというのは、本当に先ほど教育長が言われたことに、私も同感でした。何でも補助すると、本当にありがたさが分からないようになってしまっているのではないかと考えています。制服の問題と絡みますが、前ここで話をして出ました入学支援金、あれは本当に素晴らしいことだと思います。小中学校の入学時は良いけれど、そういったものも見直しながら、意見を聞きながら、支援をしていくということが大事かなということ、今回の町広報紙を見ながら非常に感じたところがありました。

是非そこら辺りは、ちょっとよろしければ先生方に聞いてもらって、漢検の成果とか、英検の成果がどうなっているのか。本当にそれを希望している生徒だけなら良いですが、希望していない子どもがもしいたら、そこは問題だと思っています。わざわざ希望していない生徒にまでさせることはないと思います。だから、そこら辺りも思うところがありました。先ほど教育長の意見に同感するところが多かったです。以上です。

- 森田教育長 やっぱり何とかしたいですね。この前波佐見中学校の1年生に係る準備用品ですが、制服、夏服、体操服、通学かばん、シューズ、それを全部合計したら、男の子が12万、女の子が11万5,000円でした。この額はやっぱり厳しいところがあるので、ここに支援していきたいなと思いますので、今年度の総合教育会議の中で、皆さん方にも言っていただきたいと思います。
- あともう一つが高校生の通学補助をどうするかと思っていますが、これは高校生なので私たちの範疇をちょっと超えてしまうところがあるので、関係課あたりと考えたいと思っています。
- 馬場委員 高校はやっぱり自分が希望して目指していくところなので、ある程度自分でできるところは自分でしていけないと、余りにもそこまで支援をし過ぎるというのは、私はちょっとどうかなという感じはしないでもないですね。
- 森田教育長 額が大きいからと思ひましてですね。そこら当たりをプッシュしていつて、何とか出来ないかなとは思っています。
- 今の漢検、英検も確かに受験者数は増えてきています。今おっしゃったように、興味もあって、意欲があって、保護者の理解があれば、僕も私も受けますとなっていますが、それが無い子たちは全然変わらない訳だから、広くそれができていると言われればそうではないとは思っています。一つの切っ掛け作りにしか繋がらないと思いますが、でも、これについては、やっぱりありがたいという声があるし、なかなか他市町から見れば、ほとんどない事業となっています。
- 馬場委員 だから、全国学力もあれば、ベネッセのあれば、結局有料でしょ。あれも出来る市町村もあるし、実際は出来ないところもありますよね。そういうことを、結局保護者はお金が掛かっていることは知らないわけです。だからそこら辺りもやっぱり知らせる必要があると思います。先ほどの漢検、英検の補助金もそうだし、全国学力調査も、全て金が掛かっているということを知っていただくことも大事ななって思います。何でも、スムーズにやり過ぎと、当たり前になってしまうからですね。保護者の皆さんは、そこら辺りを知られないからっていうのを感じるところです。
- 森田教育長 他ございません。関連でも結構です。
- 松尾委員 何点かあります。4月の挨拶運動の15日、物凄い雨でしたが、その時、交通指導員の方と話をしました。その前の週は結局、挨拶運動には立ちませんでしたが、湯無田方面から自転車で来る子たちが、ヤマブル、セブンの交差点をヤマブルの方に来て、あそこから出てくる子たちが続出したら

しくて、そこが危ないということでした。なので、入学説明会の時でも良いし、入学式で自転車通学の許可証を出す子たちだけでも良いので、危険箇所ということで、通っていい道と通ってはいけない道の徹底をしないと危ないですということでした。湯無田から小熊方面にかけての通学する子で、そこが全然徹底されていなかったようで、何かみんな勝手に、今まで歩いて来たところと違うところを自転車で来ているということが起こったみたいです。最初の2〜3日は結構、あちこちから登校自転車の子が登校して来て、危なかったという話でした。ちょっと、自転車通学の子どもだけでも良いけど、危険箇所とか通ってはいけない場所の徹底をしてもらいたいということでした。

あとは給食の食器を、今度の絆の日に販売するということでしたが、よその自治体に販売とかしてないですか。波佐見町の食器を、鹿児島方面の幼稚園とか保育園さんとかが、多分波佐見町の給食食器が良いからと言って、買っていらっしゃる園とかもあると聞いたので、何かそういうふうなPRになるかなとも思ったので。

森田教育長

未使用品を、ですよ。

松尾委員

当然もちろん未使用品です。

森田教育長

それは強化磁器という部分もあるので。

松尾委員

陶器市は全国というか、遠いところから見える方も多いので、そういうPRにも使えるのではないかなと思いました。

森田教育長

今回は、渡邊先生から波佐見町の強化磁器の利用と、それに中学生が関わっているということアピールしてということ、長崎新聞社とNCCには伝えてもらっています。確かにもうおっしゃったようにニュースでも、流れていましたね。

朝長次長

中学校からは、強化磁器の紹介もしたいということでした。

森田教育長

強化磁器の紹介や、学校紹介、そして自分たちのボランティア的なことを含めて、今回、中学生がどういうことができるのか、ありがたいことに3日間で、120名ぐらいしたいという生徒が手を挙げたそうです。3分の1ですね。

松尾委員

食器、あっという間になくなりませんか。

森田教育長

気になるのが、一回使ったもの売ることが気になるということの

ようですが、凄くきれいにされているので大丈夫だと思っています。しかし、やっぱりちょっと気になるので、どうなのかということで、差し上げ、そして寄付してもらおうと思っています。でも、池本先生もそこら辺りを踏まえていらっしゃるの、どんなことをしたら子供たちが自主的にやれるかということ、どんどんチャレンジしていきたいとおっしゃっています。もう、どうぞどんどんやってくださいと伝えています。

松尾委員 来年もっと良いのみに、していければですね。

森田教育長 そうです、もっと良いものにしていきたいし、ひょっとしたら小学生も参加できるかもしれないし、いろんなものができるだろうと思っています。今回は私たちが提供しましたが、学校や子どもたちの主体的なものになるのが、一番良いのかなと思っています。

松尾委員 子供たちの方が良い知恵を柔軟に出すかもですね。それが自分たちの収入につながるということであれば、面白い良いアイデアが出てきますよね。なるほどってアイデアが出てきますね。

朝長次長 あと、期間中はテントを一つ抑えているので、絆の日はこれを続けて良いと思いますが、もったいないので、あとの祝祭日の29日、3,4,5日をどうするのか。来年に向けて、この祝祭日をどう使うか、例えば、スポーツ少年団や中学校の部活とかにバザーなどに使ってもらい部費を稼いでもらうとか。

森田教育長 今回も先生方を交代制で外勤扱いにしたり、給食センターの職員さんを手伝ってもらってということでスタッフは対応したいと思っています。それで中学生が120人ぐらいしたいということだったので、それは嬉しいこと、ありがたいことだなと思っています。当日どうなっていくのか。だから、面白い、これが一つの伝統となって広がっていけば、面白い波佐見町らしさをアピールする中で、食器のこともそうだし、いろんなことで地域貢献、中学生の頑張り、そしてやっぱり自分たちにお金を還元できるということも学ばせない、駄目だと思っています。頑張れば、お金になるんだということも、もっと積極的に考えるし、働くようになるんだろうと思っています。

山下委員 波佐見町の公式のSNSで、そのことが掲載されていましたが、ワレニツカを販売しますみたいな感じで書いてありました。今の話を伺ってましたら、内容がまだ固まっていないということでしたが、そういうふうな内容で流れていたの、販売されるのかなって思っていました。

森田教育長 最初、課長会議で提案していました。その情報が掲載されていたと思います。一応、保護者には文書として周知しています。

渡邊指導主事 はい、文章は保護者に向けて、中学生がテントブースを使って、食器の案内や紹介をしますという形で案内をしています。あと、地域貢献として場内のごみを拾ったり、学校のPRを行ったりをしますっていうような活動で紹介をしています。

松尾委員 公共施設の敷地内禁煙、ここは3月20日にロードレースがあった時、ちょっと医師会の方から提案があって、正面玄関の自動ドアのところに灰皿が二つ立ててあるんですね。そこを喫煙所とは案内はしていませんが、そこに灰皿があることによって、喫煙者がそこに集まって、たばこを吸っていましたが、そこで表彰式がありました。子供たちの表彰もそこであって、子供たちがそこにももちろん集まって来ますが、そこが喫煙場所というのはあり得ないというところから始まって、成績のタイムもそこに貼りだされていたこともあって、これはちょっと問題でしょうということで、撤収してもらいました。多分、それは以前も医師会長が、町内公共施設敷地内は禁煙ですよ、敷地内禁煙ですよと多分言っているし、役場に関しては、産業医からの指導が度々入っていると思いますが、それが徹底されていなかったということで、今回、多分これが上がってきていると思います。一応役場は第1種の施設なので、駐車場も含めて全部敷地内禁煙で全部駄目ですっていうことで言われて、駐車場ではなくて川辺りまで降りて吸うということ、医師会長に言われたらしいです。しかし、それも結局認められないというか、健康増進法で法的に平成30年からリニューアルしたものが、令和元年7月に施行され、全国的に決まっているものなので、川に降りて吸うから良いとかではなくて、敷地内禁煙を徹底しなさいということでした。

森田教育長 急に撤去したら、喫煙者の方々からの非難もあると思うので、段取りというか、そこら辺りをしていかななくてはいけないかなと思っています。

今回も、議会でもその場所を設けて、ちゃんとエリア指定して、云々というところで進めていたのではないかということで、急遽それがダメと言われ、手順のところでもちょっと意見が出ているところもあつたりしています。だから、流れ的にもう1回ちょっと整理整頓をして、方向性とすれば全面禁煙の方に持っていくのだろうけど、丁寧な説明であつたり、周知だつたり、報道の部分をもう少し丁寧に行いながら、喫煙者の方々にも配慮というか、サポートというか、そこら辺りもちょっと配慮しなければいけないのではないかなとなっています。実際、職員も結局は向こうの離れている駐車場まで行って、タバコを吸っている現実があります。それがどう見られるかという、地域からの意見もあるということもあつたりして、ただ

法律の中では、こういう公共の部分はルールがあるわけだから、原則と特例の読み方とかいうこともあるのかも知れません。ただ方向性としては恐らく、公共施設の禁煙化というのは多分流れとしては正しいことだろうと思うので、役場に来られる方は、そんなに長い時間じゃないので大丈夫かなと思います。ただ、総合文化会館や体育センターには長時間、研修とか講演会とか、スポーツイベントで来られると半日とか1日とかいらっしゃる方々に、どう周知していくかというところを検討しなければと思っています。また、甲辰園とか鴻ノ巣のような外の施設をどうするか、あそこに置いている灰皿をどうするかとか出てくると思います。

松尾委員 屋外についても、屋外のルールが健康増進法の中に入っているのですが、屋外のことは屋外、施設内の中のことは敷地内という法律に則っていけば、多分スマートに行きます。あとは告知をしないと吸い殻のごみが増えます。

森田教育長 その部分も話しています。それとそういった周知をしっかりとやっておかないと、役場が明日からこうしますとしたら、かえって反感反発があるので、もう少し丁寧とか、そういった周知広報等々やって、せっかくやるのであれば、全面的なものが良いのかなと思うし、特に子供たちとの関わりの中でいうと、教育施設についてはやはり大事にしていかなければいけないなと思っていますところなんです。

はい。他ございませんか。

朝長次長 ひとつよろしいですか。今日の夕方から公民館長会議と体育部長会議をしますが、公民館長会議の中で、公民館活動発表について中尾と平野に今年度新規指定をします。それで、来年度中尾と平野が発表されたら4巡目が終わりになります。そこで5巡目について話を今日しておかないといけないなと思っていますが、5巡目もする方向で話そうと思っています。しかし、中身をどうしていくかということが、今後のすごく重要なことでもあるし、先ほど出た子供食堂とかもまさしく公民館活動じゃないのかなと思っています。それともう一つ、やっぱり地域のことを学ぶ、地域の歴史を学んでいただくということも必要ではないかと思っています。今、中野、盛山という優秀な学芸員がいますので、この前も、今年志折が発表されますが、志折で地域探検をしたら、新たな山城が2つ見つかったということでした。志折は、こういったところで多分公民館発表をされるのではないかと思っています。そういったその地域の歴史をもう1回学んでいただく場ということで、夜に公民館を回っていきたいなと思っています。そういったもので、次の公民館発表は最初に何か提案的なもので、何かできないかなという形で思っています。

だから、今日の会議で5巡目もさせていただきたいと思っているという

ことを説明したいと思っています。

森田教育長

スポーツ関係と同じで、郷民が少ないところは負担になるということ
で、やり方を考えて欲しいとか、今のままだったら、もうできないという
声が出てきているのが現実です。だから、今のままをしようと思えば大変
でしょうけど、今のままじゃないやり方をすれば良いのではないですかと
いうところで、地区の特色があつて構わないと思います。今までのことを
しようと思ったら大変だと思うというところ、難しいところがあります。
ただ、これを無くしてしまうと、勢い何でも無くなってしまい、自主公民
館活動もただ形だけの部分になってしまいます。止めるのは簡単だけど、
どう残していくのかという部分を検討していかなければと思っています。

馬場委員

実は、先日の金屋神社の例大祭、中尾と鬼木と一緒に当番になって奉納
演芸を出さないといけませんでした。だいたい委員会で考えました。今まで
のようなやり方をしていたら、もう誰も出ないだろう、踊りを出そうと思
ったら出ないという話になって、それではどうしようと話して、石田加
代子さんに頼んで、合唱をしましようという話になりました。ちょうどリ
サイタルをされていたので、忙しくされていましたが、快く引受けていた
だいて、皆に呼びかけたら16人ぐらい集まっていたいただきました。そうい
った中で、オールド混声合唱団を作つて発表したら、なかなか評判は良かつ
たです。やっぱり、そういうちょっと考え方を変えていけば、今までのや
り方では無理というところがあるから、やっぱりそういったものを、アイ
デアを凝らしていけば、できないことはないなと思います。自主公民館発
表も、地域のいろいろなことを考える、そして発表する、そういった場所
になっていけば良いなと思っています。昔は何かをしないといけない、何
かして発表しないといけない、そういった雰囲気でしたが、今言われるよ
うに、地元を知る勉強することも大切ですし、そういう新しいものを自分
たちで考えて、出来そうなものをするのが良いのではないかと思いま
す。次長さんにはそこら辺りの提案をしていただければ、無理にならない
ように、そしてまた自分たちの特性を活かしたものができるような、発表
できるような形に持っていければということで提案してもらえば良いなと
私も思っています。それも私も今日言わなければいけないなと思ってい
たところです。

森田教育長

他かございませんか。

富木委員

今日、いきいき大学の開講式ということで、だいたい何人ぐらいいらっ
しゃるんですか。

森田教育長

今年は223人でした。去年は、219名スタートして最後は273人でした。

今年は223人でスタートして、目標は250人まで持っていければ良いかなと思っ
ていますので、ワンコインでこれだけのことができるということも、
また面白いのかなと思います。やり方として、もう少しお金をいただい
て、中央あたりから著名な方をお呼びするやり方もありますが、いや町内
県内にかなりいろんな方がいらっしゃるわけで、ワンコインでもこれだけ
勉強ができるというのは、僕はこのいきいき大学は、逆に凄くレベルが高
いというか、良いなと思っ
ています。一応、事務局の方にも予算が幾らか
ありますので、濃淡をつけても良いのではと言っ
ています。町内の方々の
いろんな方がいらっしゃるの
で、その方々を講師として呼んで、その方々
の発表の場を持っていくということも
ありではないかと思っ
ています。音楽系でも構わ
ないし、お話もそうだし、例えばオカ
リナとか、ウクレレを
やっている団体とか、音楽を
されている方々もいらっしゃるわけ
ですから、そういう方々の発表の場
として、今年は児童合唱団を久々呼
ぼうと思っ
ています。とてもユニークだし、と
ても勉強になるし、面白いなあとは
思っ
ていますが、広げていって、250人
を目標にしていきたいと思いま
す。昔は500名いらっしゃいました。
あの頃は皆さん60歳定年でお時間
が
あられましたが、今は65歳以前
の方は皆さん働いていらっしゃるの
で、ほとんどその時間がないとい
うことで、当然どうしても少なくな
るのも仕方のないことだと思っ
ていますが、毎回120人から150
人の方が参加されていることはと
ても素晴らしい生涯学習の一つだ
と思っ
ています。これを
県、県教委生涯学習課は高く評価
をしています。

富木委員

もう一つ、この前4月17日から20日
まで、歴文で個人絵画展がありまし
たが、美容室をされている方が、10
点ほど出されておりました。私も知
っている方だったので見にもいきま
したが、話を聞いていたら63歳か
ら描き始めたということで、小さ
いころ学校の頃は絵を描くことは
好きだったということでした。いま
言われるように60過ぎても仕事に
行っているような時代ですので、
今からでも間に合うのかなという
感じで思っ
たわけですが、
そういった方をもっと発掘するこ
とも大切ではないかと思っ
ました。また、その方も今度の県
展に向けた作品を8月いっぱいま
でに出さないとい
けないとい
うことで、取り掛かるとい
うこと
言われておりました。

森田教育長

だから、去年の文化祭から、町内
の方で県展に入選入賞された方の
作品を、展示することにしました。
そうしていかないと、町内で頑
張っ
ていら
っしゃる方をほとんど知らない、
美工科生徒も含めてですね。だ
から、
そういう発表する場、そういう場
を設けていくということが、私
たちの仕事かなと思っ
る時、その絶好の機会として、
講堂があり、歴文があり、大ホ
ールがあり、いきいき大学、そ
うい
う場や環境があれば、そういう
方をど
んどんア
ピールして
いくことは、とても大事なこ
とだ
と思っ
ています。と同時に、それを学
ぶ
子供たちにとっては、自慢
できる人たちが地元にいると

いうことは、ふるさと教育に絶対つながっていくものと思っているので、やっぱり発掘的なものを、そういう場づくりはしていきたいなと思っています。

他ございませんか。それでは来月の日程を決めたいと思います。

【日程調整】

では、来月5月の定例会は、市町村教育委員会連絡協議会総会に併せ、5月28日（火）9時半からここ役場で行いたいと思います。お疲れさまでした。

※次回定例会予定 令和6年5月28日 9時30分から
役場会議室

令和6年4月23日教育委員会定例会会議録署名	
署名	馬場 清治
委員	松尾 保子